

肥満による脂肪肝の改善効果に対する 超音波エラストグラフィを用いた簡易評価

医学部 小児科学講座 教授 徳原 大介

キーワード：肥満、脂肪肝、肝硬度、超音波エラストグラフィ

シーズ概要

近年、肥満の増加に伴い、肝臓に脂質が過剰に蓄積する非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) が成人のみならず小児においても増加しており、病状が進行すると肝硬変に至るリスクが高いため、肥満ならびに NAFLD への対応が社会的に重要な課題となっている。

我々は国内で初めて小児の肥満に伴う NAFLD の簡便な評価手法として超音波エラストグラフィを導入し、その有用性や基準値設定においてエビデンスを構築してきた。そして、確立した理論を元に、診療において肥満対策や NAFLD 評価に役立てており、様々な企業と連携し、肥満改善に有用とされる物質の脂肪肝に対する有効性を評価する共同研究も展開してきた。

応用が期待される分野・製品

肥満や脂肪肝改善に有用と考えられる食品成分や機能性成分の有効性の評価を超音波エラストグラフィを用いて簡便に行う。

企業に期待すること

和歌山県産の食品や食品成分による肥満・脂肪肝の改善効果の検証を行う共同研究の展開

関連文献・特許等

1. <https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/news/2015/04649.php>
2. <https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/news/2020/200914>
3. <https://www.fibroscan.jp/academic/normal-liver-stiffness-and-influencing-factors-in-healthy-children/>